

SPT

LABORATORY

SPTラボラトリー レクチャー

（ 災厄と向き合うヨーロッパ演劇
～ドイツからのレポートを中心に～ ）



講師

萩原健

明治大学国際日本学部教授

2025年1月21日(火)・28日(火) 18時30分～21時

会場:世田谷文化生活情報センター セミナールームA・B

三軒茶屋駅前「キャロットタワー」5階

お問合せ:世田谷パブリックシアター学芸 03-5432-1526

災厄と向き合うヨーロッパ演劇 ～ドイツからのレポートを中心に～

2020年から数年にわたり、コロナ禍が全世界を襲うのと並行して、22年2月にロシアがウクライナへ侵攻、23年10月にはイスラエルによる軍事作戦がガザで開始されました。こうした世界情勢のなかで、舞台芸術作品を制作し上演する活動あるいは環境は、どう変化したのでしょうか？近年まれに見る災厄が立て続けに降りかかる中での舞台芸術の実際について、くわしく確かめ、考察します。

今回は、ドイツ演劇研究者の萩原健さんをお招きして、現在のドイツでの演劇事情を報告していただきます。萩原さんは1月12日までドイツに滞在されているとのことなので、かなりホットなドイツ演劇の現在のお話をうかがえることでしょう。萩原さんの報告を手がかりにして、演劇が社会においてどのように機能しうるものなのか、数々の大きな災厄を経たいま、あらためて考える機会となればと思います。

講師プロフィール

萩原健

明治大学国際日本学部教授。博士(文学)。専門は現代ドイツ語圏の舞台芸術、および関連する日本の舞台芸術。著書に『演出家ピスカートアの仕事』、論文に「ゲーリング『海戦』(1917)のアクチュアリティと普遍性」「築地小劇場再考」、共訳にフィッシャー＝リヒテ『パフォーマンスの美学』ほか。研究と並行して、ドイツ語圏の劇団の来日公演等で稽古場通訳や字幕の翻訳・制作・操作も務める。

SPTラボラトリーとは

様々なバックグラウンドを持つ人たちが集まり、演劇ワークショップと社会の関わりについて、互いの関心や課題を持ち寄り、思考、実験、育成し合うことを目的とした、世田谷パブリックシアターの人材育成事業です。

日程 | 2025年1月21日(火) 18時30分～21時

1月28日(火) 18時30分～21時

※全2回

会場 | 世田谷文化生活情報センター セミナールームA・B(三軒茶屋駅前「キャロットタワー」5階)

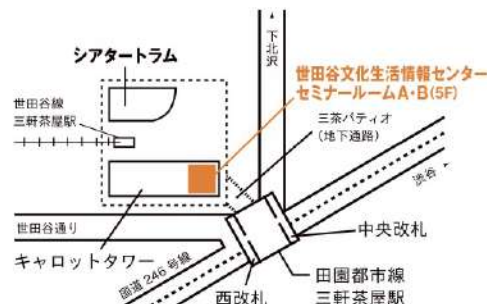
対象 | どなたでも(2回通して参加できる方) 定員 | 50人 ※先着順に受付

受講料 | 2,000円 ※全2回分 ※当日支払い。現金のみ。

申し込み方法 | (1)～(8)をご明記の上、Webフォームよりお申込みください。
(1)氏名(ふりがな) (2)メールアドレス (3)住所 (4)電話番号 (5)年齢 (6)職業 (7)参加の動機
(8)ひとこと

HP | <https://setagaya-pt.jp/programs/23548/>

お問い合わせ | 世田谷パブリックシアター学芸 03-5432-1526



お願い事項

- ◆お申込み時にお預かりした個人情報は(公財)せたがや文化財団個人情報保護規定により管理いたします。
- ◆WS・レクチャー中に取材が入る場合や広報物・出版物・講演・展示等で使用する写真や動画の撮影をすることがあります。
- ◆WS中のご見学はご遠慮いただいております。
- ◆WS・レクチャー中の写真・動画の撮影および録音はご遠慮ください。
- ◆WS・レクチャー中にけがをされた際、主催者側に過失のある場合は加入している保険の範囲内で補償いたします。
- ◆他の参加者への迷惑行為などがあった場合はご退出いただく場合があります。
- ※感染症大予防に関する対策は変更する場合があります。

[主催] 公益財団法人せたがや文化財団
[企画制作] 世田谷パブリックシアター
[後援] 世田谷区